

「なぜ」から始まる 科学的思考文化の定着 (平成30年度重点努力目標)

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH（スーパーサイエンスハイスクール）に選ばれました。「なぜ」から始まる科学的思考文化の定着を平成30年度の重点努力目標として教育活動を行っています。



7月10日(火)クラス別に、企業訪問を行いました。現場の研究者や技術者の方から、具体的な業務内容や仕事のやりがいや魅力について説明を受けた後、施設を見学させていただきました。

■ 1組 花王サニタリープロダクツ愛媛株式会社



感想 私には幼児の妹がいるため、企業見学会が花王に決まった時、嬉しかった。私はよく妹のおむつを換えているので、どのような構造・工程で作られているのか気になっていた。おむつは吸水性ポリマーが使用されているなど、少し難しかったが、良い勉強になった。最後の先輩の話で出てきた、「チャンスが来る前に準備しておく」ということは、自分の進路を考えるうえでも大切だと感じた。



■ 2組 今治造船株式会社



感想 今造西条工場は何度も見かけていたのですが、今まで中に入って、工場見学をしたことがなかったので、とてもいい機会でした。なぜこんな重い鉄の塊が浮くのどころとか、色々な疑問も浮かびました。一番驚いた

のは、人間の何十倍もあるあの船をミリ単位で調整しているということです。こんなにも正確さを求めて調整していくことは、やはり職人技だなと思いました。

■ 3組 住友重機械工業株式会社愛媛製造所

感想 最初はクレーンなどの重機械だけを作っていると思っていましたが、宇宙船の部品など細かなものも作っていることに驚きました。工場内では、安全管理がしっかりなされて



おり、ホワイトボードに事故が起きなかった日を書くというのは、社員さんの安全意識が一人ひとり高まり、よい方法だと思いました。

ご協力いただいた企業の皆様ありがとうございます。4組以降の企業見学の報告は、第4号に掲載いたします。

経済基礎

1学期後半は、経済について学びました。西条地域の経済や観光についての現状や今後の課題について3名の講師の方に講演を行っていただきました。

講座 「地域産業と仕事について」

01

西条市役所産業振興課産業人材係 副主査 久保 結貴氏

西条市の産業構造や市内経済の概況について説明していただきました。西条市は「ものづくり」産業が盛んな都市で、全国的に見ても優れた技術力を持った企業がいくつもあるそうです。しかし、こういった魅力を知らないまま進学等を機に市外へ出る若者が多く、人材不足が大きな課題となっています。市内の企業情報をどのようにして魅力的に届けるか、グループで話し合いました。

講座 「観光振興と課題について」

02

西条市役所観光振興課観光戦略係 係長 越智 浩二氏



西条市には豊かな自然や歴史、文化があり、年間340万人の観光客が訪れています。しかし、産直市などでの買い物をも目的とした日帰りの場合が多く、今後宿泊客をターゲットとした観光施設やプランなどの開発が必要です。そこで、「西条市へ多くの観光客を呼び込むにはどうすればよいか」についてグループ討論を行いました。

講座 「科学と社会の連携—地域社会の持続可能な発展に貢献するために—」

03

愛媛大学社会共創学部長 西村 勝志先生

グローバル化や情報化、少子高齢化が進んでいる今、地域が取り残され、疲弊しています。その中で求められる社会共創力とは何か、またこれから行う課題研究に向けて、適切な課題設定の仕方やPDCAサイクルを活用した課題解決のための手順について詳しく教えていただきました。